

土岐川・庄内川流域治水協議会



- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組に加えて、流域に関わる関係者が、主体的に取り組む社会を構築することが必要です。
- 「流域治水」の考え方にに基づき、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進します。
- 庄内川流域については全国に先駆けて「流域治水協議会」を設立し、令和3年3月25日にプロジェクトをとりまとめました。また、令和5年3月2日に開催した協議会では、流域治水プロジェクトに基づく取組状況について確認しました。

土岐川・庄内川流域治水協議会

構成員：流域市町（18市5町）、岐阜県（県土整備部、都市建築部、林政部）、愛知県（建設局、農林基盤局）、東海農政局、中部森林管理局、岐阜地方气象台、名古屋地方气象台、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所
(34機関)

オブザーバー：中部地方整備局 建政部・河川部、気象庁 名古屋地方气象台、日本下水道事業団 事業統括部、中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務部、環境省
(10機関)

◆第11回土岐川・庄内川流域治水協議会(令和5年3月2日開催)



協議会の様子



開会挨拶(代表構成員(春日井市長))

- 開会にあたり春日井市長より「行政区域を超えて、関係者が一同に会し、流域治水について考え・取り組むことが大切」と挨拶されました。
- 6市町の首長から、庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく、今年度の取組状況について説明されました。
- 今年度実施した流域治水の自由研究については、出席された首長から有意義な取組である旨の発言があり、次年度以降も引き続き実施することを確認しました。また、自由研究に続く新たな取組として、流域治水カード作成等を行っていくことを確認しました。



自由研究 受賞作品の展示

【土岐川・庄内川流域治水協議会の流れ】

- 第1回協議会(令和2年7月6日開催)
 - ・ 庄内川流域治水協議会の設立
 - ・ 庄内川水系流域治水プロジェクト【素案】の提示
- 第2回協議会(令和2年9月14日開催)
 - ・ 庄内川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】(案)の提示
 - ・ 指定区間を含めた本会議の拡充
- 第3回協議会(令和2年10月13日開催)
 - ・ リーディング地区での対策紹介
 - ・ 庄内川流域で行う流域治水の全体像の共有・検討
 - ・ 全体とりまとめイメージ及び今後の進め方確認
- 第4回協議会(令和2年12月14日開催)
 - ・ 各自治体の課題の抽出・検討状況報告
 - ・ オブザーバーの位置付け明記(新規参画含む)
- 第5回協議会(令和3年3月25日開催)
 - ・ 「庄内川水系流域治水プロジェクト」とりまとめ
- 第6回協議会(令和3年7月2日開催)
 - ・ 防災まちづくりに関する取組報告
 - ・ グリーンインフラの観点の追加確認
 - ・ ロゴマーク作成、シンポジウム開催の決定
- 第7回協議会(令和3年10月21日開催)
 - ・ 新規参画構成員(名古屋・岐阜地方气象台)・オブザーバー(JR東海、環境省)の取組の共有
- シンポジウム(令和3年11月20日開催)
 - ・ 流域治水MOVIE上映、基調講演、パネルディスカッション、ロゴマーク決定
- 第8回協議会(令和4年1月31日開催)
 - ・ ロゴマーク使用規程・使用ガイドラインの策定
- 第9回協議会(令和4年3月3日開催)
 - ・ グリーンインフラの取組を追加、R3実施状況フォローアップ
 - ・ 流域治水プロジェクトに基づく取組の「見える化」
- 第10回協議会(令和4年6月23日開催)
 - ・ 自由研究の募集についての確認 等
- 第11回協議会(令和5年3月2日開催)
 - ・ 土岐川・庄内川流域治水の自由研究の報告
 - ・ R4実施状況フォローアップ